

JAITI 65

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 公益財団法人 日本農業研修場協力団
事 務 所 〒386-0502 長野県上田市石臼沖605-5
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

コロナ禍の閉塞感からようやく脱出の動きが見られるようになってきました。各地で夏祭りや各種催しもコロナ前の形に戻って行われているところが多くあるようです。そのような中、海外渡航の制約が緩和されてきたことから、この4月に約4年ぶりとなるネパールの現地訪問が叶いました。

これまでメールや電話でのやり取りの中で情報を交わすことはできていたとしても、やはり、直接対面して再会できたことは、4年の空白を一気に埋めてくれるものだった。そして、予想以上に整備が進められている市街地はもとより農村部の道路網やカトマンズからポカラへ通ずるタンコットの峠は急登坂に物流の大型車両がひしめき慢性的な渋滞を起こしている幹線道路ですが、いよいよネパール国内でも本格的なトンネル工事が始められているなど、急速な車社会の到来に向けて着実に国づくりが行われていることを感じさせてくれます。

反面、燃料費をはじめ物価の高騰はどこも頭の痛い状態です。

理事長ネパール訪問記

4月8日から8日間、丸山常務理事と共に、ネパールの現況を視察してきました。昨年の理事長就任後、早期のネパール訪問を切望していましたが、コロナ禍により今日に至ってしまいました。今回の訪問の主たる目的は、ジャイチネパールとの意思疎通を図り、今後のネパール支援のあり方を検討したいというものでした。



▲ジャイチネパールのスタッフとの懇談
右から3人目が宮下篤理事長

ジャイチネパールの解散も噂される最近の動向を勘案すると、当ジャイチの新たな活動を模索していく必要性を強く感じました。両学校およびカカニ村役場、在ネパール国日本大使館訪問やイチゴ農家など、駆け足での現況視察でしたが、30年超えのジャイチの活動が、学校の公立化に繋がったこと、また、農業指導により農民の所得向上に寄与していることを実感しました。今回の訪問を今後の活動に生かしていく所存です。



▲カカニ・ブライター学校を所轄するカカニ村役場を訪問当日は、副村長(中央左の女性)、教育担当官、区長らが迎えてくれ、宮下理事長からブライター学校の公立にあたっての御礼を述べ、カカニ村からは、イチゴの普及拡大による村づくりにジャイチが貢献してくれたことの感謝の言葉をいただきました。

◆ネパール国の農山村地区に暮らす子どもたちの教育の発展に寄与するために開設した、レカリ・バシファント学校及びカカニ・ブライター学校は、共に地元の学校運営委員会による自立した学校運営に移行し、公立化によって得られるようになった政府からのプログラムの導入などにより、教師たちの研修の充実や生徒たちの学習意欲を高める授業に取り組んでいます。

◆レカリ・バシファント学校では、昨年のSEE(学力試験)の成績が思わしくなかった(87%が最低ランク)ことから、ジャイチネパールの教育アドバイザーによって学力向上のための提案を行っていただきました。前年度は、コロナ感染防止のために休校が長引いたことによる学習時間の不足などの要因もありましたが、今春行われたSEE試験の結果速報では、中ランクの成績を収めた生徒の割合が高くなっており、学校、生徒、地域、保護者の皆さんの連携の成果がうかがえます。

◆カカニ・ブライター学校では合併後の新たな学校運営委員会の構成が行われ、新学期には大勢の生徒が入学していますが、現在のスクールバスで対応できなくなったため、遠距離(35キロ超え)地区の生徒には、その地域の近くの別の学校に転校してもらうようにしました。



▶カカニ・ブライター学校訪問時懇談会に集まってくれた運営委員会、教員、保護者、村関係者の皆さん

ジャイチネパールから

創立30周年記念式典と 保護者を開催



レカリ・バシフアント学校では、毎年創立記念日を祝っていますが、今年は開校30周年を迎えたことから、6月12日に学校運営委員会の主催により、記念式典が開催され、運営委員会関係者、母体組織ジャイチの代表者、地域の役職者、保護者、教職員、生徒ら約400人が出席して盛大に行われました。

式典の中では、年次試験で優秀な成績を収めた生徒へ賞品の贈呈があり、また、席上、日本からの支援金も学校に手渡されました。併せて行われた保護者会では、会計責任者から年間の詳細な活動及び収支報告と新年度の予算が提案され可決されました。

▶会場となったみすずホール一杯の参加者のもとで行われたバシフアント学校創立30周年記念式典
右は祝辞を述べるグルン氏



質疑では、一部の保護者から学校の教育の質の向上について質問があり、委員会の関係者や教師らから、ジャイチネパールに対して、この学校の質を向上させるための技術的及び財政的支援を継続されるよう要請がありました。

者、教師の三者の前向きな考え方、忍耐力、勤勉さなど、教育の質を向上させるための熱意について、詳しく述べました。

帯瀬憲五様の追悼集会が執り行われました

カカニ・ブライター学校の建設に当たって多大なご支援をいただいた新潟市の帯瀬憲五様が4月10日にご逝去されました。

カカニ地区でジャイチが取り組んだ実験研修農場から農家に普及したイチゴ栽培によって農家収入が格段に増大し、子どもたちの教育にも目が向けられるようになり、新



▲地元新聞ザ・カトマンズ・ポストのお悔み欄に掲載された故帯瀬様の甲意記事
左は翻訳文

たな学校の設置が望まれていました。
このような状況を汲み取られた帯瀬様は、本校の建設費の全てを提供され、2005年に開校することができました。

約300人の人たちが会葬しました。
参列したグルン氏が弔辞の中で、当時、校舎の建設に重要な役割を果たしたマン・バハドル・シュレスタ氏（現在日本在住）、ジャイチネパール社長のアルジュン・シン・トゥラチャン氏をはじめジャイチの関係者全員を代表して哀悼の意を表しました。

営委員会会長や区長らが中心となつて、これまでのご功績に報いるための追悼集会を開催し、帯瀬様のご冥福を祈ることにしました。

式典は、6月18日にブライター学校で行われ、故人を偲んで1分間の黙祷が捧げられ、黙祷後、仏教の伝統に従って108個のランプが点灯され、僧侶が読経する中を、参加した生徒たちを含めて

安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

イチゴ苗の供給に向けて

▶僧侶の読経の中でご冥福をお祈りする参列者



ジャイチが農業技術の普及としてカカニ地区に1991年にわずか6株の苗の植え付けからスタートしたイチゴ栽培は、30年を経た今も、カカニ地区・帯の主要農産物として意欲的に生産が続けられています。

栽培上で問題となるのは、ウイルスや各種病害を回避するために早めの苗の更新が必要となるため、現地での供給体制が望まれていましたが、新しい技術とビジネスモデルを進めるアワーファーム様様の活動もあり、苗づくりに取り組む農業者も出てきました。



心よりお悔やみ申し上げます
故 帯瀬憲五 様
私たちの大切なサポーターでネパール国マワコト郡にカカニブライター学校の建設にあたり費用の全額を出資していただいた故帯瀬憲五様の早すぎる訃報に接し私たち一同深い哀しみに暮れています
カカニブライター学校及び
ジャイチネパールファミリー
(ビム・ラル・グルン)

ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

2022年12月25日〜2023年6月25日迄 順不同敬称略

◆ 人的協力

申田長久、小池靖子、内藤喜美子

〔茨城県〕

伊藤甫、藤井英雄

〔栃木県〕

森聖哉

〔群馬県〕

上原照雄、小板橋靖幸、斉藤孝夫、島田寛治、橘真知子、土屋邦夫、割田甚

〔埼玉県〕

板垣修悦、小野美津男、加藤美恵子、斉藤節子、鈴木吉人、常陸民生、芳澤竹男

〔千葉県〕

足立雄一、相楽洋子、佐瀬萬亀、高橋節子、武藤貴子、横館久宜、吉田秀子

〔東京都〕

朝倉政雄、石田昭夫、今井

〔北海道〕

正史、大田原房子、鎌田はなよ、河野節子、黒田秀基、須田清、高橋伸迪、滝和美、三希子、田山豊實、西岡巖、野村明賢、二瓶幸子、松田重策

〔神奈川県〕

荒木眞一・利枝、石井清、小林みよ子、島田正義、堀内弘栄、丸山進治・佳子

〔長野県〕

株式会社アサマネット代表取締役 赤羽巧、井出守雄、内野倉千枝子、内山富之、奥野恵子、小埜沢浩一、小山田秀士、柿島明子、菊池健介、株式会社北澤土建北澤隆洋、北原千歳、久保田寛人、斉藤一美、坂井永一、返町幸見、有限会社大和印刷、武内美栄子、武田順次、立岩寿一、長門郵便局、中澤知史、中村彰、名倉慶子、根岸厚次・真貴子、松久よし子、宮下静子、矢嶋栄子、柳澤利文、山田照子、六川楨彌、ジャイチ事務所寄附金箱

〔新潟県〕

帯瀬憲五、小森修

〔岐阜県〕

庄村敏

〔愛知県〕

岡本守弘、神田孝子、小蘭四男、本田忠彦

〔三重県〕

日柴喜清文

〔滋賀県〕

岡田千尋、シャール水ヶ浜玉田誠二、竹村順子、西村敏、松延宏昭、宮川一男

〔兵庫県〕

川上康子、新海泉

◆ 寄付品

〔北海道〕

内藤喜美子

〔茨城県〕

伊藤甫

〔群馬県〕

島田寛治、橘真智子、割田甚

〔埼玉県〕

山田まゆみ

〔東京都〕

池田照子、川口律子、橋上可和子、小山恵美子

〔長野県〕

菊池健介・道子、清住栄子、武井美樹、富田万里子・昌利、豊田祐一、長門郵便局、舟木公栄、堀邦昌、丸山敏和、モチーフの会、矢嶋栄子

〔三重県〕

日柴喜清文

〔滋賀県〕

市橋康子、宮川男

〔大阪府〕

鎌野富美子

〔兵庫県〕

丸尾信

〔広島県〕

土佐朱実慧

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

ジャイチの基本的財源として

皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。

その中より余剰資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れていきます。基金は、ジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

- ①所得控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職、所得金額又は山林所得金額より控除できます。
 - ②税額控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。(例 10,000円の寄附の場合 所得税が3,200円戻ります。)
- 上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。(税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。)

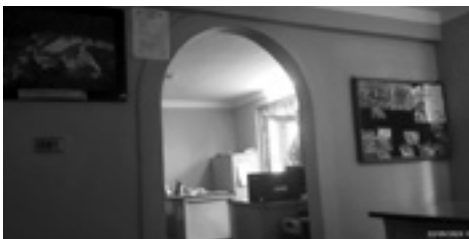
郵便振替・銀行振込での募金

- お振込先
 - 郵便振替 00510-4-65434
 - 銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577
 - 座名 公益財団法人 日本農業研修場協同団

ジャイチネパールの事務所が移転しました

これまで業務を行っていた事務所の土地が、道路開設計画に伴って事務所を移転することになりました。

事務所を構えた当初はカトマンズでも比較的郊外の場所でしたが、市街地が拡張す



◀5階建て建物の1階に移転した事務所の内部

るに従って土地利用も変化し、道路の必要性が出てきたことから、現在の土地を道路用地として売り渡し、今までの事務所に近い建物の一部を借りて5月に引越しました。

JAITITツアー参加者募集

コロナの感染拡大により休止をしておりますツアーを実施します。

今回の日程は、感染が完全に収束した状態ではないことから、学校訪問を主体としてネパールの魅力に触れる旅を計画しました。

◆実施日

令和5年11月1日(水)～8日(水) 6泊8日

◆旅程

成田から直行便で同日にカトマンズ着。翌日からレクリ・パシファント学校、カカニ・ブライター学校を訪問し、その間には、エレストを間近に眺めるマウンテンフライトやバクタプル、カトマンズ等の世界遺産をめ

ぐり、7日夜にカトマンズ発、8日の朝成田に戻ります。
◆旅行代金
お一人様 37万円
全行程中の交通費(飛行機はエコノミークラス)、宿泊、食事代を含みます。但し、国内の交通費と海外旅行保険は別途になります。

◆申し込み期限

9月8日(金)

最小催行人員8名

◆問い合わせ・申し込み方法

電話、メール等にて左記にお問い合わせください。
募集要項、申込書をお送りします。

企画 ジャイチ事務所

長野県上田市武石沖6055

TEL 0268(85)3465

Mail jaiti@jain.or.jp

主催 ㈱西遊旅行

千代田区神田神保町2-2

観光庁長官登録旅行業第607号日本旅行業正会員

TEL 033323718384

Fax 03332371396

事務局だより

▼ジャイチ

- 1月 ・機関紙64号の編集と発行
- 2月 ・令和5年度事業計画・予算案の作成
- ・国際交流フェスin丸子実行委員会
- 3月 ・理事会(令和5年度事業計画・収支予算等の承認)
- ・内閣府へ令和5年度事業計画書等を提出
- 4月 ・理事長、事務局長ジャイチネパール訪問
- ・上田市に法人税減免申請書提出(6/12承認)
- 5月 ・令和4年度決算監査
- ・国際交流フェス佐久実行委員会
- 6月 ・理事会(令和4年度事業報告・決算等の承認)
- ・定時評議員会(令和4年度事業報告・決算の承認)
- ・内閣府へ令和4年度事業報告等を提出
- ・機関紙65号の企画

▼ジャイチネパール

- 1月 ・ブライター学校運営委員会等と合同会議
- ・ジャイチネパールの土地処分の協議
- 3月 ・在ネパール日本大使館員バシファント学校訪問
- ・両校で学年末試験および卒業試験
- 4月 ・日本ジャイチの訪問受け入れ
- 5月 ・新入学手続き開始、新学年授業開始
- ・ジャイチネパール事務所移転
- 6月 ・バシファント学校30周年記念式典開催
- ・ブライター学校で故帯瀬憲五様の追悼式
- ・両校で学校運営委員会、保護者会開催

書き損じハガキを送って下さい。

未使用も歓迎

年賀ハガキの書き損じ・余りなど・・・(古いものでもOK)

使用済切手も集めています。未使用も歓迎

(切手の周りを5ミリほど残してください)



▲ネパールの新年は4月14日が正月、市内の大型デパートは賑わいを見せていた。ネパール暦では2080年

物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りいたしませうとともに、これまでのご支援に感謝申し上げます。

黛 禮次様

二〇年二月 神奈川県横浜市

松野俊一様

二三年一月 静岡県富士市

帯瀬憲五様

二三年四月 新潟県新潟市

下村 聖様

二三年六月 長野県上田市

松林 進様

二三年六月 長野県上田市

都竹茂生様

二三年六月 大阪府



編集後記

事務所の玄関の扉の上では、今年もツバメがやってきて子育てをしています。遠慮なしに落とされてくれる糞には閉口しますが、親が運ぶ餌を待つひな鳥の声と日に日に成長する姿を楽しませてくれます。

秋の始めには、南の国をめざして過酷な旅が続いています。一体いつの国境を越えて家路をたどるのだろうか。国土の奪い合いで紛争を続ける愚かな人間を尻目に。

もうしばらくこの地で体力を養い、来年も元気で訪れて欲しいものです。もしネパールへ行くツバメがいたら羨ましい。だって飛行機代ただだし・・・

令和4年度 事業決算報告	
科目	(単位:円)
I 事業活動収支の部	
1.事業活動収入	4,243,244
基本財産運用益	1,828,776
特定資産運用益	90,480
受取寄附金	2,323,957
雑収益	31
2.事業活動支出	
開発途上国への農業技術の向上と普及、農業・学校団体への助成・支援及び農業・教育の啓発事業	3,511,011
3.管理費支出	
一般管理費	757,101
事業活動収支差額	△24,868
II 投資活動収支の部	
1.投資活動収入	0
2.投資活動支出	0
投資活動収支差額	0
当期収支差額	△24,868
前期繰越収支差額	2,869,984
次期繰越収支差額	2,845,116

◆理事会・評議員会開催
理事会は、3月19日に令和5年度事業計画・収支予算の承認、6月4日に令和4年度の事業報告・収支決算を承認しました。

また、6月19日に定時評議員会を開催し、令和4年度の事業報告・収支決算が承認されました。皆様方のご支援ご協力に感謝申し上げます。